

エコアクション21 環境経営レポート 2024

【レポートの対象期間：2024年10月～2025年9月】



— 発行 2025年10月1日 —

有限会社 井野口解体

1. 環境方針

〔基本理念〕

弊社は自動車リサイクル事業を通して3R（リデュース、リユース、リサイクル）を基本理念に掲げ、循環型社会の実現に貢献します。

〔基本方針〕

環境保全活動推進するにあたり、以下の主な活動項目を掲げ継続的改善に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量削減のため、当社で使用する電力及び化石燃料を削減します。
2. 自動車の新品部品を生産販売することによる二酸化炭素排出を抑制するため、当社の事業である自動車リサイクルパーツ部品の販売強化に努めます。
3. 精緻な自動車解体作業をおこなうことにより、適正な資源活用と廃棄物発生の抑制に努めます。
4. 日々使用する水については、節水を心掛けます。
5. 事業活動に伴う法規制やその他の公的基準を遵守します。
6. この環境方針は、社内外に公表します。

2020年 10月1日

有限会社 井野口解体
代表取締役社長 井野口悟史

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

有限会社 井野口解体
代表取締役社長 井野口 悟史

2. 所在地

〒374-0054 群馬県館林市大谷町2997-2

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 井野口 悟史
環境管理責任者 : 須永 優太
担当 : E A 2 1 事務局
TEL : 0276-74-4885
FAX : 0276-75-0154

4. 対象範囲

有限会社 井野口解体 全組織及び全活動

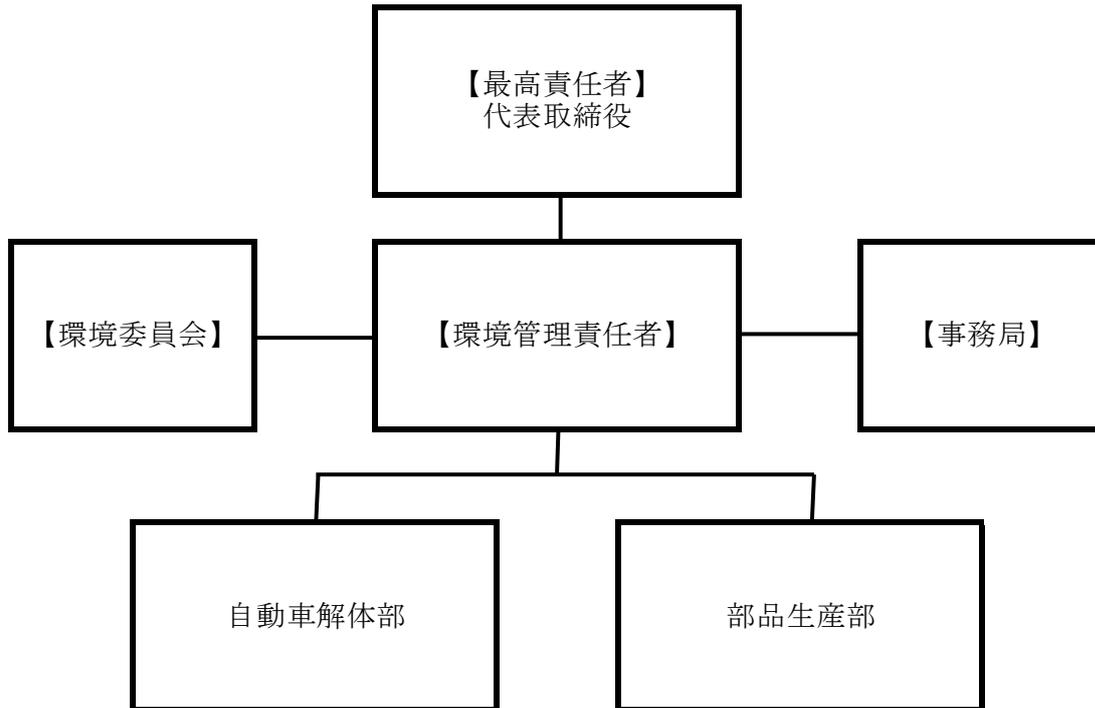
5. 事業の内容

自動車解体、中古パーツ生産・販売
【解体許可番号 20103 000037】

6. 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
引取台数	台	1706	1770	1673
従業員数	人	15	13	13
敷地面積	m ²	6,420	6,420	6,420

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境目標とその実績

1. 環境目標とその実績

*購入電力の排出係数は、0.464(kg-CO₂/kWh)を使用しています。

環境目標	基準値	今年度目標				次年度の目標
	2022年度	2024年度(2024年10月~2025年9月)				2025年度
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標
①処理台数当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /引取台数)	41.36	2022年実績に対し2%削減	40.53	34.38	達成	2022年実績に対し3%削減
②処理台数当たりの廃棄物排出量の削減(kg/引取台数)	9.08	2022年実績に対し2%削減	8.90	8.03	達成	2022年実績に対し3%削減
③水資源投入量の削減(使用量m ³)	314	2022年実績に対し2%削減	307.7	309 (0.0513) ※2	未達成	2022年実績に対して3%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	管理徹底	管理徹底	取扱量把握	SDSの入手が完了して保管されている	管理の徹底
⑤本業に関する目標	—	①リサイクルパーツ販売の強化 ②法令遵守した解体工程の徹底		—	①リサイクルパーツ販売のための営業をおこなった。 ②法令を遵守して解体をおこなっている。	
⑥部品販売貢献※1	276283.4 (kg)	2023年実績に対し1%増加	279046.2 (kg)	294341.9 (kg)	達成	2023年実績に対して2%増加

※1 新品部品に代わりリサイクルパーツを使用した際の二酸化炭素削減数値

※2 カッコ内は洗浄1アイテムの水使用量

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2022年度	2023年度	2024年度
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	70576.68	67397.43	57518.94
②廃棄物排出量(kg)	15506	21363.14	13426.6
③水資源投入量(m ³)	314	321	309

3. 中長期目標

目標	基準	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	2022年実績に対して	2%削減	3%削減	2025年度 1%削減
廃棄物排出量		2%削減	3%削減	2025年度 1%削減
水資源投入量		2%削減	3%削減	2025年度 1%削減
部品販売貢献	2023年度より実施	1%増大	2%増大	2025年度 1%増加

5. 環境活動計画の取組みと評価

*2024年度の活動の取組みを評価をしております。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	引取車両の燃料(軽油)を再利用し使用量を大幅削減し目標を達成することが出来た。社用車の点検・整備に関しては新たに項目を増やし適切なメンテナンスが出来ている。
	次年度の取組内容
	重機のアイドリングストップ及び、販売部品による二酸化炭素排出量軽減の明確化の継続。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	使用済自動車に混入している廃棄物を受け入れないよう、買取見積もり段階から説明を行う取組みを継続して行い、本年度の排出はゼロとなった。自動車部品では小部品を分解し資源として利用できるものの取り出し等を行った。
	次年度の取組内容
	資源の取り出しと廃棄物の分別の徹底を推進していく。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	中古車販売に伴う洗車や、高単価車両生産が増加し、それに伴う洗浄品質の強化により水資源の使用量は増加した。
	次年度の取組内容
	販売促進の為に洗浄強化することと節水することは矛盾する為、次年度の取組みを検討。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品の把握 ②購入量の把握 ③取扱商品一覧表の作成	パーツクリーナー等のSDSを入手して、化学物質含有の有無を確認できた。今年度も新たなシンナー等の溶剤の購入は無い。
	次年度の取組内容
	新規に使用する溶剤等の購入があれば前もってSDSの入手やシンナー等の管理を徹底する。
5. 本業に関する目標 ①リサイクルパーツ販売の強化 ②法令遵守した解体工程の徹底	リサイクルパーツの仕入販売が増加し二酸化炭素削減値を増加させることが出来た。引き続き法令を遵守して解体を行う。リサイクルパーツ販売点数による二酸化炭素排出量の算出を継続中。
	次年度の取組内容
	リサイクルパーツの新規営業を継続する。販売点数によるCO2排出削減量の見える化継続。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
自動車リサイクル法	適正な解体及びリサイクルパーツ取りの推進	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
騒音規制法	特定施設の届出、騒音基準値の遵守	遵法
振動規制法	特定施設の届出、振動基準値の遵守	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2025年10月30日に遵守状況を確認しました。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

従業員の「環境に配慮した意識」と共に、エコアクション21の活動意識の向上もあり、二酸化炭素排出・廃棄物排出量の削減について目標を達成する事が出来た。生産部門ではリサイクル部品販売による二酸化炭素排出量の削減貢献値が見える化した事により、自動車解体業界全体のイメージアップを推進出来ている。今後もリサイクルパーツ生産と販売強化のための営業を進めていきたい。解体部門に関しては昨年度中旬より障がい者雇用を行い、更に精緻な分別・リサイクルが行える様作業を行って頂いている。今後も法律を遵守した上で3R活動を推進し、循環資源社会の実現に貢献できるよう取組みを継続していきたい。

8. 解体工程

使用済み自動車



フロンガス回収

CFCとHFCに分別し、取り除いたフロンガスはフロンガス破壊処理業者に引き渡し、適正に処理します



エアバック処理

取り外したエアバックは、エアバック処理工程にて適正処理します。



リサイクル可能な
部品を回収し販売



再資源化素材
(アルミ・鉄等)を
回収し販売



その他
(タイヤ・廃油・LLC等)を
各業者へ引き渡し、
適切に処理